

標準ラジオ、
CD 付き標準ラジオ、
プレミアムラジオ (EU)、
CD なしプレミアムラジオ (米国)、
北米向けプレミアムラジオ

オペレータマニュアル

標準ラジオとプレミアムラジオ

OMAL212765 G7 版 (JAPANESE)

John Deere GmbH & Co. KG
John Deere Werk Mannheim
世界各国版

PRINTED IN U.S.A.



概要

序文

このマニュアルをよく読んで、ラジオシステムの正しい操作方法を習得してください。この取扱説明書は他の言語版を入手できる場合があります。注文は John Deere 取扱店にお問い合わせください。

このマニュアルは機械の常備部品と見なし、機械を売却する場合と一緒に引き渡してください。

「仕様」セクションに用意されている空欄に製品識別番号 (P.I.N.) を記入してください。すべての数字を正確に記入してください。盗難にあった場合、お客様の所有物を探し出す上でこの番号が非常に重要になることがあります。したがって、この番号を他のところにも記録しておくことをお勧めします。

OULXBER,0002972-40-09FEB16-1/1

目次

	ページ	ページ
識別図および機能		
識別図	00-1	CD モードの開始 30-1 CD のイジェクト 30-1 CD プレーヤーの操作 (再生機能) 30-2
安全および一般情報		
重要な注意事項	05-1	MP3 の操作 (プレミアムラジオのみ)
使用目的	05-1	MP3 の操作 (一般情報) 35-1
交通安全	05-1	MP3 CD の作成 35-1
廃棄	05-1	USB データキャリアの作成 35-2
ラジオ受信のための基本設定	05-1	ID3 タグ 35-2
		CD の MP3 モードの開始 35-2
		USB データキャリアの接続と MP3 モードの開 始 35-2
		トラック情報のスクロールの ON/OFF (SCRL) 35-2
		MP3/WMA ファイルの再生 35-3
一般操作		
スイッチ類と計器 : CD なしラジオ	10-1	Bluetooth® の操作 (プレミアムラジオのみ)
スイッチ類と計器 : CD 付きラジオ	10-2	Bluetooth® の操作、一般情報 40-1
ラジオの ON/OFF 操作	10-3	Bluetooth® の設定 40-1
ラジオ照明の輝度調整 (ILLUM)	10-3	Bluetooth® の ON/OFF 操作 (BT MODE) 40-1
音量調整	10-3	接続の種類の選択 (CON-TYPE) とデバイスのペ アリング (BT-PAIR) 40-2
ラジオのミュート (MUTE)	10-3	現在接続されている Bluetooth® デバイス (BT- JOIN) 40-2
確認ビープ音 ON/OFF 操作 (BEEP)	10-4	電話帳データの転送とアクセス 40-2
電源投入時の最大音量の調整 (ONVOL)	10-4	電話の受信と発信 40-3
音響の調整	10-4	オーディオファイルの再生 (BT AUDIO) 40-3
左 / 右音量配分の調整 (BAL)	10-4	
フロント / リア音量配分の調整 (FAD)	10-4	
ラウドネス ON/OFF 操作 (LD)	10-4	
音響設定の復元	10-5	
ラジオの操作		
ラジオ受信機の設定	15-1	SiriusXM® 衛星受信 (北米向けプレミアムラジオ のみ)
局名	15-1	SiriusXM® ラジオ、一般情報 45-1
ラジオモードの開始	15-2	XM シリアル番号の表示 45-1
RDS 機能の ON/OFF	15-2	XM ラジオモード 45-1
周波数バンド / メモリレベルの選択	15-2	XM ラジオモードの開始 45-1
選局	15-2	XM バンドの選択 (メモリレベル) 45-1
サーチ機能の感度	15-3	XM チャンネルの選択 45-1
放送局の保存	15-3	XM チャンネルの保存 45-2
保存されている放送局の選択	15-3	保存されている XM チャンネルの選択 45-2
保存されている放送局のスキャン (PRSTSCAN)	15-3	XM チャンネルのカテゴリモードの ON/OFF (CAT) 45-2
利用可能な放送局の周波数帯のスキャン (BANDSCAN)	15-4	XM チャンネルカテゴリの選択 45-2
プログラムタイプ (PTY)	15-4	キー機能の設定 (KEY PRG) 45-2
干渉している高音域のカット (HCUT)	15-4	システム情報 45-2
キー機能の設定 (KEY PRG)	15-5	
交通情報 (欧州のみ)		
交通情報 (欧州のみ)	20-1	仕様
		仕様 50-1
外部音源		製品識別番号と SiriusXM® シリアル番号 50-1
外部音源	25-1	エラーメッセージと不具合 50-2
		適合宣言 50-3
CD の操作 (CD 付き標準ラジオとプレミアムラジ オのみ)		
CD の使用 (一般情報)	30-1	

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2017
John Deere GmbH & Co. KG Mannheim Regional Center
Zentralfunktionen
All rights reserved.
Previous Editions
Copyright © F7

識別図および機能

識別図



標準ラジオ



CD 付き標準ラジオ



プレミアムラジオ (EU)

主要機能	ラジオ	外部デバイスの接続	CD	CD、MP3/WMA	USB	Bluetooth®	SAT ラジオ
標準ラジオ	X	X					
CD 付き標準ラジオ	X	X	X	X			
プレミアムラジオ (EU)	X	X	X	X	X	X	

注記：図は、暗い背景に淡色文字のディスプレイを備えた「第2版」のラジオを示しています。「初版」のラジオは、淡色の背景に暗い文字の別のディスプレイを備えています。

次のページへ

OULXBER,00029BA-40-10FEB16-1/2

LX272576—UN—09FEB16

LX272570—UN—09FEB16

LX272572—UN—09FEB16



CD なしプレミアムラジオ (米国)



北米向けプレミアムラジオ

LX272573—UN—09FEB16

LX272571—UN—09FEB16

主要機能	ラジオ	外部デバイスの接続	CD	CD、MP3/WMA	USB	Bluetooth®	SAT ラジオ
CD なしプレミアムラジオ (米国)	X					X	XM 対応
北米向けプレミアムラジオ	X	X	X	X	X	X	X

注記：図は、暗い背景に淡色文字のディスプレイを備えた「第2版」のラジオを示しています。「初版」のラジオは、淡色の背景に暗い文字の別のディスプレイを備えています。

OULXBER,00029BA-40-10FEB16-2/2

安全および一般情報

重要な注意事項

取扱説明書：ラジオの操作前にこのマニュアルをよく読み、ラジオについて理解してください。今後の参照のため、この取扱説明書を車両内に保管してください。

取り付けに関する注意：CAN 接続のラジオは、取り付け先の車載電子機器とリンクされます。このようなラジオを別の車両で使用するには、John Deere 取扱店でラジオを

有効にする必要があります。そうでなければ、ラジオは作動しません。

ラジオ周波数 (チューナーバンド)：ラジオがフィールド取り付けの場合、レシーバが地域で受信可能な周波数バンドと適合することを取扱店が確認する必要があります。そうでなければ、一部のラジオ局 / サービスを受信できません。

OULXBER,00029BB-40-09FEB16-1/1

使用目的

このラジオは、ユーティリティ車両の 12 V 車載システム

電圧で作動し、1-DIN スロットに取り付けるように設計されています。

OULXBER,00029BC-40-09FEB16-1/1

交通安全

⚠ 注意：交通安全は最優先事項です。交通条件や走行状況の許す場合のみ、ラジオシステムを操作してください。車両の走行前にラジオについて理解してください。走行時は適切な音量を選択してください。

⚠ 注意：作業時はラジオに気を取られないでください。細心の注意の必要な手順のときはラジオを OFF にしてください。

⚠ 注意：ラジオの音量を正しく調整して、警察、消防、救急のサイレンが遅滞なく聞こえるようにしてください。

⚠ 注意：ラジオの音量設定が大きすぎると、聴力を損なう恐れがあります。

OULXBER,00029BD-40-09FEB16-1/1

廃棄

古いラジオシステムを家庭ごみとして廃棄しないでください。

古いラジオシステムの廃棄に対応した回収システムを使用してください。

OULXBER,00029BE-40-09FEB16-1/1

ラジオ受信のための基本設定

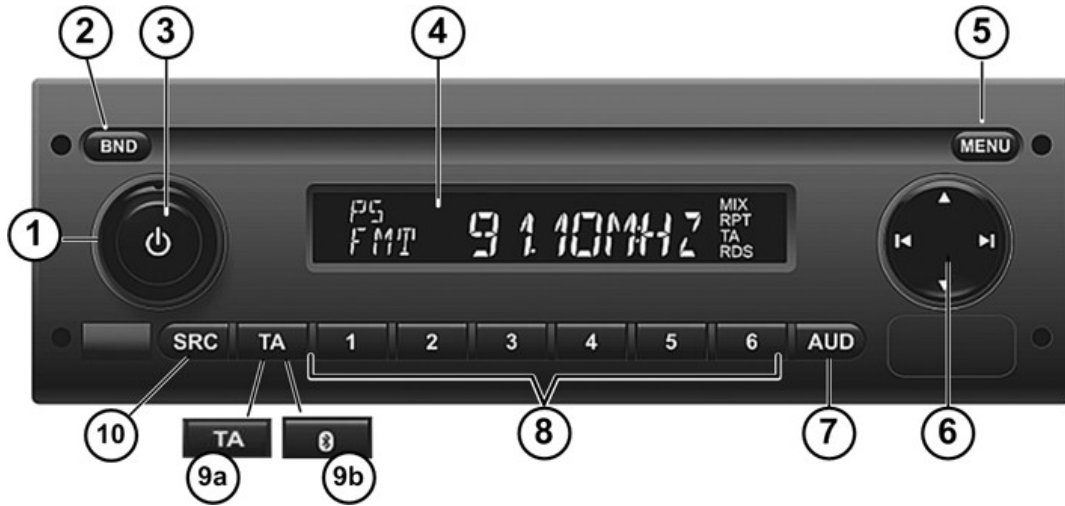
重要：ラジオの受信機は、国の周波数帯 (チューナーバンド) に合わせてチューニングする必要があります。周波数帯 (チューナーバンド) を適切に設定しないかぎり、どの局からも受信することはできません。

通常は、ラジオは正しく設定された状態で出荷されています。しかしごくまれに、設定のリセットが必要となることもあります。セクション 15 の「ラジオ受信機の設定」、「ラジオの操作」を参照してください。

OULXBER,00029BF-40-09FEB16-1/1

一般操作

スイッチ類と計器：CD なしラジオ



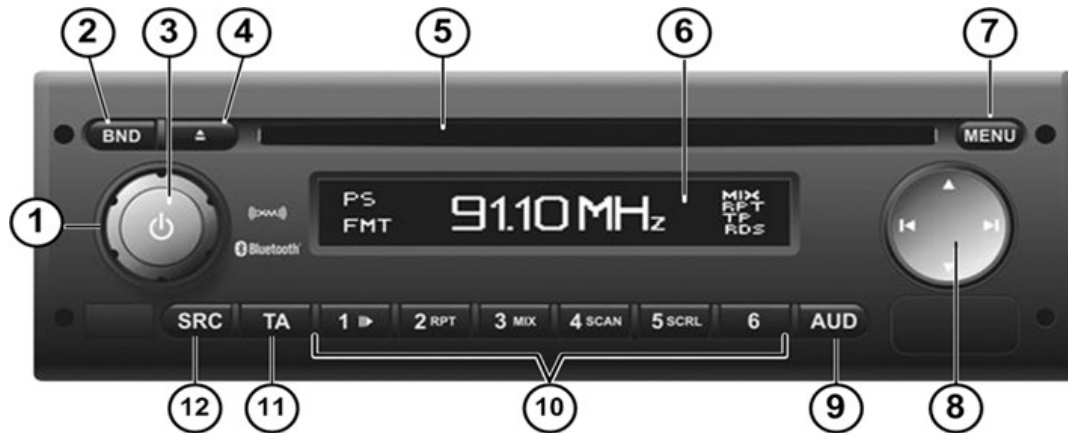
LX272574-UN-09FEB16

位置	名称	機能
1	音量コントロール	
2	BND	短く押すと、メモリレベルまたは周波数バンドが選択されます。 押し続けると、Travelstore 機能が起動します。
3	ON/OFF キー	短く押すと、ラジオが ON に切り替わります。 作動中に短く押すと、ラジオがミュートされます。 押し続けると、ラジオが OFF に切り替わります。
4	ディスプレイ	ディスプレイを切り替えます。
5	メニュー	基本設定用のメニューが表示されます。
6	マルチファンクションロッカースイッチ	ディスプレイ内を移動したり、機能を切り替えます。
7	AUD キー	短く押すと、音質調整 (バス、ミッドレンジ、トレブル)、バランス、フェード*、ラウドネス設定用のオーディオメニューが表示されます。 押し続けると、工場出荷時の音響設定が復元されます (トレブルとバスは現在使用されている音源に対してのみ)。
8	1~6 キープロック	局キー
9a	TA キー	標準ラジオ (グローバルバージョン) : ユーザー / オーディオメニューから現在の音源に戻ります。ラジオスキャン機能を終了します。 交通情報優先を ON または OFF に切り替えます。提供中の交通情報をキャンセルします (欧州のみ)。
9b	Bluetooth® キー	CD なしプレミアムラジオ (米国のみ) : Bluetooth® 機能の ON/OFF を切り替えます。
10	SRC キー	ラジオと AUX からの音源選択。

*フェードは、フロントスピーカーとリアスピーカーが接続されている場合のみ設定できます。

OULXBER,00029C0-40-11FEB16-1/1

スイッチ類と計器：CD 付きラジオ



位置	名称	機能
1	音量コントロール	
2	BND	短く押すと、メモリレベルまたは周波数バンドが選択されます。 押し続けると、Travelstore 機能が起動します。
3	ON/OFF キー	短く押すと、ラジオが ON に切り替わります。 作動中に短く押すと、ラジオがミュートされます。 押し続けると、ラジオが OFF に切り替わります。
4	CD イジェクトキー	
5	CD スロット	
6	ディスプレイ	ディスプレイを切り替えます。
7	メニュー	基本設定用のメニューが表示されます。
8	マルチファンクションロッカースイッチ	ディスプレイ内を移動したり、機能を切り替えます。
9	AUD キー	短く押すと、音質調整 (バス、ミッドレンジ、トレブル)、バランス、フェード*、ラウドネス設定用のオーディオメニューが表示されます。 押し続けると、工場出荷時の音響設定が復元されます (トレブルとバスは現在使用されている音源に対してのみ)。
10	1~6 キープロック	局キー
11	TA キー	ユーザー / オーディオメニューから現在の音源に戻ります。ラジオスキャン機能を終了します。 交通情報優先を ON または OFF に切り替えます。提供中の交通情報をキャンセルします (欧州のみ)。
12	SRC キー	ラジオと AUX (モデルによっては、さらに CD、USB、XM) からの音源選択 (ただし、メディアが挿入または接続され、ON になっている場合)。

*フェードは、フロントスピーカーとリアスピーカーが接続されている場合のみ設定できます。

OULXBER,00029C1-40-10FEB16-1/1

LX272575—UN—09FEB16

ラジオの ON/OFF 操作

ラジオを ON または OFF にする方法はいくつかあります。

ON/OFF キーによる ON/OFF 操作

ON 操作 ON/OFF キーを押します。
OFF 操作 ON/OFF キーを 2 秒以上押し続けます。

イグニッションによる ON/OFF 操作

ON 操作 (イグニッション ON) イグニッションを OFF にすると、ラジオは自動的に OFF になります。
OFF 操作 (イグニッション OFF) .. この場合、イグニッションを再度 ON にすると、ラジオも自動的に ON になります。

注記：イグニッションが OFF の場合でも、ON/OFF キーを使用すると、ラジオを ON にすることができます。車両バッテリーの電力を維持するため、あらかじめ設定された時間が経つと、ラジオは自動的に OFF になります (このセクションの「ターンオフ時間の調整」参照)。

ターンオフ時間の調整 (HOUR)

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。
2. **HOUR** と現在の時刻設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、ターンオフ時間を 1~60 分の範囲で調整します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C2-40-09FEB16-1/1

ラジオ照明の輝度調整 (ILLUM)

注記：この設定は、車両の自動輝度調整が利用できない場合に使用されます。

バックライトが変化するため、ILLUM メニューは常に利用可能で、ラジオを時間モードでオンにした場合など、CAN バスがアクティブではない場合に使用されます。

計器ライトに対して輝度が自動的に調整されない場合は、

この設定を ILLUM メニューから手動で行うことができます。そうするには、次の操作を行います。

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。
2. **ILLUM** と現在の設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、輝度を -5 (最小) から +5 (最大) の範囲で調整します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C3-40-10FEB16-1/1

音量調整

音量は 0 (なし)~32 (最大) の範囲で段階的に調整できます。

音量調整

音量を上げる 音量コントロールを時計回りに回します。
音量を下げる 音量コントロールを反時計回りに回します。

注記：音量 0 で電源をオフにした場合でも、ラジオは音量 0 で電源が投入されません。

OULXBER,00029C4-40-10FEB16-1/1

ラジオのミュート (MUTE)

ON/OFF キー (3) を短く押すと、ラジオはミュートされます。オーディオ出力はその後完全に抑制されます。ON/OFF キーを再度押すと、オーディオ出力は最後の音量設定に戻ります。

ラジオのミュート

ミュート機能の作動 (サウンド OFF) ON/OFF キーを短く押します。
ミュート機能の解除 (サウンド ON) ON/OFF キーを再度短く押すか、音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回します。

注記：車両が再始動された場合、ミュート機能はキャンセルされます。車両を再始動しないでラジオをオフにしてオンに戻した場合も同様です。

OULXBER,00029C5-40-10FEB16-1/1

確認ビープ音 ON/OFF 操作 (BEEP)

特定の操作 (キーを押し続けるなど) の後、確認警告音が鳴ります。この確認警告音は OFF にすることができます。

1. **MENU** キーを押してメニューを開きます。

2. **BEEP** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**ON** から **OFF** またはその逆に切り替えます。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C6-40-09FEB16-1/1

電源投入時の最大音量の調整 (ONVOL)

ラジオシステムを ON にしたときの最大音量は **ONVOL** メニューで調整できます。基本的には、電源投入時の最大音量設定を超えていない限り、最後に選択されていた音量が電源投入時に使用されます。超えている場合は、最大音量設定が使用されます。

注記：電源投入時の最大音量は 5~25 の範囲で調整できます。

1. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
2. **ONVOL** と現在の設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、電源投入時の最大音量を 5~25 の範囲で調整します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C7-40-09FEB16-1/1

音響の調整

バス (BASS) とトレブル (TREB) の調整

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **BASS** または **TREB** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +7 から -7 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

ミドル (MID) の調整

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **MID** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +7 から -7 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C8-40-09FEB16-1/1

左 / 右音量配分の調整 (BAL)

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **BAL** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。

3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +10 から -10 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C9-40-09FEB16-1/1

フロント / リア音量配分の調整 (FAD)

この調整は、フロント / リアスピーカー付き車両のみで利用できます。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。

2. **FAD** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +10 から -10 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029CA-40-10FEB16-1/1

ラウドネス ON/OFF 操作 (LD)

ラウドネスを ON にすると、音響が改善されます。小音量設定でも音響を均一化するため、低音と高音の比率が変更されます。大音量設定でラウドネスを ON にすることは推奨されません。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **LD** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**ON** から **OFF** またはその逆に切り替えます。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029CB-40-09FEB16-1/1

音響設定の復元

すべての音響設定は、工場出荷時の設定に復元できます。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **RESET N** が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを時計回りに回して、**RESET Y** を選

択します。約 2 秒後にすべての音響設定がリセットされます。

4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記： **AUD** キーを 2 秒以上押し続けると、現在使用されている音源に対してのみオーディオ設定がリセットされます。

OULXBER,00029CC-40-09FEB16-1/1

ラジオの操作

ラジオ受信機の設定

重要： ラジオレシーバは、国の周波数帯 (チューナーバンド) に合わせてチューニングする必要があります。周波数帯 (チューナーバンド) を適切に設定しないかぎり、どの局からも受信することはできません。

設定手順：

1. ラジオを OFF にします。
2. 局ボタン (1) と (3) を同時に押したままにします。
3. ラジオを ON にすると、「SETUP」と表示されます。
4. 局ボタン (1) と (3) を放します。
5. 現在の周波数帯が表示されるまで、「メニュー」キーを数回押します。(「EUROPE」、「NAFTA」、「SOTHAMRC」、「MESTAFRC」、「APAC」、「TAIWAN」、「PHILIPIN」、「AUSTRLNZ」等)。
6. マルチファンクションロッカースイッチ (右側の矢印) で



LX203086-JUN-27MAR14

周波数帯を変えることができます。ラジオを操作する国に合わせて周波数帯を選択します (表を参照)。

7. 正しい周波数帯を選択した後は、このメニューでは何も設定せず、ラジオを OFF にして設定の変更内容を保存してください。

国	周波数帯 (チューナーバンド)	国	周波数帯 (チューナーバンド)
オーストリア ベルギー ブルガリア スイス チェコ共和国 ドイツ デンマーク エストニア スペイン フィンランド フランス 英国 北アイルランド クロアチア ハンガリー	イタリア カザフスタン リトアニア ルクセンブルグ ラトビア オランダ ポーランド ポルトガル ルーマニア ロシア セルビア スウェーデン スロバキア トルコ ウクライナ	アルゼンチン ボリビア ブラジル ガイアナ ニカラグア ウルグアイ ベネズエラ	SOTHAMRCA
	EUROPE	アルメニア エチオピア イスラエル オマーン 南アフリカ ザンビア	MESTAFRC
		中国 日本 韓国	APAC
カナダ ドミニカ共和国 メキシコ 米国	NAFTA	オーストラリア ニュージーランド	AUSTRLNZ
台湾	TAIWAN	フィリピン	PHILIPIN

問題：

設定メニューがディスプレイに表示されない。通常のラジオモードはアクティブになっている。

解決方法

ラジオを ON にする際に、2 つのボタンを同時に押したかどうか確認してください。

設定メニューに希望する国が表示されない。

これは正常です。ディスプレイには 8 種類の設定しか表示されず、それぞれの設定が複数の国を表しています。表を参照してから選択を行ってください。

設定内容が保存されていない。

CAN バスにより CommandCenter に接続されているラジオは、関連ソフトウェアにより自動的に設定を読み込みます。この場合は、CommandCenter で設定を行う必要があります。

ラジオのディスプレイに何も表示されない。

ラジオが操作できる状態になっているか確認してください。「DIM 機能」が「DIM ON」に設定されているか確認してください。

OULXBER,00029CD-40-11FEB16-1/1

局名

このラジオシステムには RDS ラジオレシーバが装備されています。多くの FM 局の送信する信号には、プログラム

だけではなく、局名やプログラムタイプ (PTY) などの他の情報も含まれます。

受信した場合、局名が表示されます。

OULXBER,00029CE-40-10FEB16-1/1

ラジオモードの開始

ラジオシステムが現在別のモードになっている場合は、次の操作を行います。

- **BND** キーを 1 回押すか、**RADIO** が表示されるまで **SRC** キーを数回押します。

現在の周波数または局名が表示されます。

OULXBER,00029CF-40-09FEB16-1/1

RDS 機能の ON/OFF

RDS 機能により、ラジオシステムの性能範囲が拡張されます。

- **AF** (代替周波数) : RDS 機能が ON の場合、ラジオシステムは、選択されている放送局について最良の受信可能な周波数をバックグラウンドで検索します。
- **REG** (地域) : 時間帯によって、一部のラジオ局はプログラムを地域向けプログラムに分割し、異なるコンテンツを提供します。REG 機能が ON の場合、ラジオシステムは、異なるプログラムコンテンツを送信している代替周波数に切り替わりません。

注記 : RDS (AF) は工場初期設定では ON になっています。REG はメニューから個別に ON または OFF にする必要があります。RDS が ON の場合のみ、REG を ON にすることができます。

RDS (AF) の ON/OFF 操作

1. ラジオモード (FM 周波数バンド) を選択します。

2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **RDS** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りにまたは時計回りに回して、ON から OFF またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

REG の ON/OFF 操作

1. ラジオモード (FM 周波数バンド) を選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **REG** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りにまたは時計回りに回して、ON から OFF またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記 : RDS コンフォート機能が ON のときは、「RDS」と表示されます。

OULXBER,00029D0-40-10FEB16-1/1

周波数バンド / メモリレベルの選択

このラジオシステムでは、異なる周波数バンドのプログラムを受信できます (表参照)。

- FM 周波数帯では 3 つのメモリレベルを利用できます。
- AM/AMT、MW/MWT、LW/LWT 周波数帯では、それぞれに 2 つのメモリレベルを利用できます。
- WX 周波数帯では 1 つのメモリレベルを利用できます。
- 各メモリレベルに 6 つの放送局を保存できます。

BND キーを押すと、周波数バンドまたはメモリレベル間で切り替わります。

地域 :	周波数バンド :				
	FM	AM	WX	MW	LW
NAFTA 各国	X	X	X		
ヨーロッパ	X			X	X
その他の地域	X	X			
メモリレベル :	FM1、 FM2、 FMT	AM、 AMT	WX	MW、 MWT*	LW、 LWT*
*EU のみ					

OULXBER,00029D1-40-12FEB16-1/1

選局

選局方法は 2 つあります。

- **自動サーチ**、**◀▶** キーを使用
このセクションの「サーチ機能の感度設定 (SENS)」を参照してください。

- **手動選局**、**▲▼** キーを使用。

また、このセクションの「キー機能の設定 (KEY PRG)」を参照してください。

OULXBER,00029D2-40-10FEB16-1/1

サーチ機能の感度

この機能は選局に関連しています。

自動サーチ

サーチ機能の感度設定 (SENS)

1. ラジオモードを選択します。

2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **SENS** と現在の設定 (**LO** (低感度) または **DX** (高感度)) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**LO** から **DX** またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A1B-40-10FEB16-1/1

放送局の保存

地域:	周波数バンド:				
	FM	AM	WX	MW	LW
NAFTA 各国	X	X	X		
ヨーロッパ	X			X	X
その他の地域	X	X			
メモリレベル:	FM1、FM2	AM	WX	MW	LW

手動保存

1. 必要なメモリレベルまたは周波数バンドを選択します。
2. 適切な局に合わせます。
3. 局キー 1~6 のいずれかを放送局の保存用に選択し、このキーを 2 秒以上押し続けます。
4. 選択した局キーに放送局が保存されるとすぐに、確認信号音が鳴ります。この放送局が選択されている間は、放送局の保存場所 (P3 など) が表示されます。

CommandCenter™ は Deere & Company の商標です。

自動保存 (T-STORE)

注記: CommandCenter™ GS 4600 ディスプレイでは使用できません。機能はソフトウェア更新により変わる可能性があります。正規取扱店にお問い合わせください。

地域で最も強力な 6 つの放送局を自動的に保存できます。FM 周波数バンドの保存には FMT メモリレベルが使用され、AM 周波数バンドの場合は AMT メモリレベル (欧州ではさらに MWT と LWT) が使用されます。

注記: このレベルに既に保存されている放送局は、新しく検出された放送局に置き換えられます。

PTY が ON の場合は、現在選択されているプログラムタイプの放送局のみが保存されます。

1. 必要な周波数バンドを選択します。
2. **BND** キーを 2 秒以上押し続けます。
3. 保存が始まり、**T-STORE** が表示されます。プロセスが完了すると、メモリ位置 1~6 が放送局に割り当てられます。この保存は、保存が実行されたメモリレベル (FMT または AMT) のみ有効です。

OULXBER,00029D3-40-10FEB16-1/1

保存されている放送局の選択

1. メモリレベルまたは周波数バンドを選択します。

2. 局キー 1~6 を押して、保存されている放送局のいずれかを呼び出します。

OULXBER,00029D4-40-10FEB16-1/1

保存されている放送局のスキャン (PRSTSCAN)

この機能により、現在のメモリレベルに保存されている放送局が次々にそれぞれ約 5 秒間再生されます。

スキャンの開始

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. **PRSTSCAN** が短時間表示されます。現在のメモリレベルに保存されている各放送局が約 5 秒間再生されま

す。同時に、選択されている周波数または局名が表示されます。

スキャンの停止

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. スキャンが停止され、最後に再生された放送局に留まります。

OULXBER,00029D5-40-10FEB16-1/1

利用可能な放送局の周波数帯のスキャン (BANDSCAN)

注記：この機能は、**KEY PRG** メニューで ◀ / ▶ キーに対して **BANDSCAN** が選択されている場合にのみ使用可能です (このセクションの「キー機能の設定」参照)。

スキャンの開始

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. **BANDSCAN** が短時間表示されます。現在の周波数バ

ンドで利用可能な放送局が検索されます。検出された各放送局は約 5 秒間再生されます。同時に、選択されている周波数または局名が表示されます。

スキャンの停止

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. スキャンが停止され、最後に再生された放送局に留まります。

OULXBER,00029D6-40-10FEB16-1/1

プログラムタイプ (PTY)

一部の FM 局は、プログラムタイプに関する情報も送信しています。

プログラムタイプの例：

- CULTURE
- TRAVEL
- WEATHER
- JAZZ MUSIC
- NEWS
- POP MUSIC

PTY が ON の場合は、選択したプログラムタイプの放送局のみを選局できます。ラジオは、現在のステーションや別のモードから選択したプログラムタイプのステーションに自動的に変わります。

PTY の ON/OFF 操作

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **PTY ON** または **PTY OFF** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**PTY OFF** から **PTY ON** またはその逆に切り替えます。

5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

プログラムタイプの選択

注記：PTY は ON になっている必要があります。

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **PTYTYPE** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、プログラムタイプを選択します。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

PTY スキャンの開始

注記：PTY スキャンは、PTY が ON になっており、**KEY PRG** メニューで ◀ / ▶ キーに対して **AUTOSEEK** または **BANDSCAN** が選択されている場合にのみ使用可能です (このセクションの「キー機能の設定」参照)。

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押して、スキャンを開始します。
2. 現在選択されているプログラムタイプの放送局が見つかったら、その放送局が選局されます。
3. このプログラムタイプの放送局が見つからない場合は、前に選択されていた放送局のままになります。

OULXBER,00029D7-40-10FEB16-1/1

干渉している高音域のカット (HCUT)

HCUT 機能により、ラジオの受信状態が悪いときの音響が改善されます。受信状態での干渉がある場合は、干渉によるノイズレベルが自動的に削減されます。

1. ラジオモードを選択します。

2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **HCUT** と現在の設定 (**OFF**、**1**、または **2**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、HCUT を調整するか **OFF** にします。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029D8-40-09FEB16-1/1

キー機能の設定 (KEY PRG)

1 つの機能を ◀ / ▶ キーに割り当てることができます。

機能	説明
AUTOSEEK	利用可能な次の局を選局します。
MANSEEK	一度に 1 つの局だけ手動で選局します。
PRSTSCAN	現在選択されているメモリレベルで保存されている局をスキャンします。
BANDSCAN	現在選択されている周波数バンドで利用可能な局をスキャンします。

キー機能の設定

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **KEY PRG** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押しします。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、異なる設定間で切り替えます (表参照)。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029D9-40-10FEB16-1/1

交通情報 (欧州のみ)

交通情報 (欧州のみ)

注記： 交通情報機能は *NAFTA* 各国では使用できません。

この機能は、北米向けプレミアムラジオでは使用できません。

この機能は、*FM* 周波数バンドがラジオモードで選択されている場合のみ、*CD* モードと *AUX* モードで使用できます。

交通情報優先の ON/OFF 操作

TA キーを押すと、すべてのモードに対して交通情報優先が ON または OFF になります。

TA または **TP** が表示されている場合は、交通情報優先が ON になっています。交通情報を受信すると、*CD* または他の出力が中断され、ラジオシステムが交通情報に切り替わります。交通情報の間は **TRAFFIC** が表示されます。

- 交通情報をブロードキャストしている放送局の送信範囲から出たとき、および交通情報を提供する代替局が自動スキャンで見つからないときは、再生音源に関係なく警報が鳴ります。

- 交通情報を提供する放送局から交通情報を提供しない放送局に切り替わったときに音響警報が鳴ります。

どちらの場合も、交通情報優先を OFF にするか、交通情報をブロードキャストする放送局を選局してください。

交通情報の音量の調整

1. ラジオモード (*FM* 周波数バンド) を選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **TA DIFF** と現在の設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を **DIFF 0** から **DIFF 10** の範囲で調整します。この数字は、選択されている音量との関連で音量増分を表します。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記： 交通情報がブロードキャストされる間、音量コントロールを使用してその間の音量を調整できます。

交通情報のキャンセル

TA キーを押すと、提供中の交通情報がキャンセルされ、前の出力音源に戻ります。交通情報優先は **ON** のままです。

OULXBER,00029DA-40-10FEB16-1/1

外部音源

外部音源

さまざまな外部音源をラジオの裏側にある AUX 入力から接続できます。例：ポータブル CD プレーヤー、MD プレーヤー、MP3 プレーヤー。

AUX 入力の作動

- 外部音源を接続し、ディスプレイに **AUX** が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。

注記：外部音源は、オーディオデバイスが外部 AUX 入力に接続されている場合にのみ選択できます。

AUX 入力音量の調整

接続された外部音源の音量は、ラジオモードの音量に調整できます。

注記：AUX 入力音量は、**SRC** キーを使用してこの入力を音源として選択した後でのみ調整できます。

- 必要な音源が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。
- MENU** キーを押します。**GAIN** と現在の設定が表示されます。
- 音量コントロールを左右に回して、音量を -9 と +9 の範囲で設定します。0 はラジオモードでの設定音量に対応します。
- MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029DB-40-09FEB16-1/1

CD の操作 (CD 付き標準ラジオとプレミアムラジオのみ)

CD の使用 (一般情報)

このラジオシステムでは、直径 12 cm (4.7 in) の標準オーディオ CD、CD-R、CD-RW を再生できます。独自の CD を焼くときは、16x を超える速度で焼かないようにしてください。そうでないと、再生の問題が発生する可能性があります。

適切に作動させるために、Compact Disc ロゴ付きの CD のみを使用してください。コピープロテクト付きの CD からは再生の問題が発生する場合があります。CD のコピー保護スキームにより、読み取りエラーが発生して CD プレーヤーが CD の再生に失敗する場合があります。

音楽 CD のルートディレクトリに再生リストファイル (プレイリストなど) が保存されている場合、CD プレーヤーは再生リストからトラックを再生できます。プレイリスト作成の詳細については、CD 作成ソフトウェアの説明を参照してください。

重要： CD ドライブ損傷の恐れ！直径 8 cm (3 in) の CD シングルや成形 CD (シェイプ CD) を使用しないでください。

CD は慎重に取り扱い、損傷しないようにしてください。可能な場合は、CD の縁だけに触れてください。

必要に応じて柔らかい布で CD を拭き、溶剤を使用しないでください。常に外側に向かって CD を拭いてください。

CD を直射日光にさらさず、適切な保護カバーに入れてください。

CD にステッカーを貼らないでください。適切な市販のペンでラベル付けすることをお勧めします。

不適切な CD や損傷している CD を使用して発生した損害は、保証対象ではありません。

OULXBER,00029DC-40-10FEB16-1/1

CD モードの開始

CD がまだ挿入されていない場合：

1. 無理な力をかけずに、印刷面を上にして CD を CD スロットに挿入します。最初に抵抗が感じられるところで押すのを止め、CD が自動的に引き込まれるまで待ちます。CD が表示されます。
2. CD 再生が始まります。現在のトラック番号 (T12 など) と再生時間が表示されます。

重要： CD が引き込まれているときに CD を妨げたり、押し込んだりしないでください。

注記： ラジオシステムが OFF のときに CD が挿入されると、CD は自動的に引き込まれますが、再生は始まりません。

CD が既に挿入されている場合：

1. CD が表示されるまで、SRC キーを数回押します。
2. 中断されていた時点から再生が始まります。CD が挿入されていない場合は、CD と短く表示されてから、NO CD と表示されます。

OULXBER,00029DD-40-10FEB16-1/1

CD のイジェクト

注記： ラジオシステムが OFF の場合や、別のオーディオソースから再生中のときは、CD をイジェクトできません。

CD イジェクトキーを押すと、CD がイジェクトされます。CD がイジェクトされると、CD EJECT が短時間表示

されます。CD を取り除くと、CD EJECT は表示されなくなります。

重要： CD がイジェクトされるときに CD を妨げたり手伝ったりしないでください。

注記： イジェクト後に CD を取り除かないと、CD は自動的にもう一度引き込まれます。

OULXBER,00029DE-40-10FEB16-1/1

CD プレーヤーの操作 (再生機能)

再生の経過時間と残り時間の表示	キーブロックの 6 キーを押すと、現在のトラック再生の経過 (ELAPSED) 時間と残り (REMAIN) 時間が切り替わります。
トラック選択	▶ キーまたは ◀ キーを押すと、次のトラックまたは前のトラックが選択されます。 現在のトラックが 10 秒以上再生されている場合は、◀ キーを 1 回押すと再スタートします。
クイックスキャン (可聴)	◀ キーまたは ▶ キーを押すと、早送りまたは早戻しが開始されます。必要な時点でキーを放します。
ランダム再生 (MIX ALL)	キーブロックの 3 キーを押します。 MIX ALL が短時間表示された後、 MIX が表示されます。後続トラックがランダムに選択されます。
MIX の停止	キーブロックの 3 キーを再度押します。 MIX OFF が短時間表示された後、 MIX は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
トラックのスキャン (SCAN TRK)	キーブロックの 4 キーを押すと、すべてのトラックが約 10 秒間ずつ再生されます。 SCAN TRK が短時間表示されます。 スキャンの停止とトラックの再生の続行： キーブロックの 4 キーを再度押すと、スキャンプロセスが停止します。 SCAN OFF が短時間表示されます。現在のトラックの再生が続行されます。
トラックの繰り返し (RPT TRK)	キーブロックの 2 キーを押します。 RPT TRK が短時間表示された後、 RPT が表示されます。 RPT が OFF になるまで、現在のトラックが繰り返されます。 トラックの繰り返し (RPT) の停止： キーブロックの 2 キーを再度押します。 RPT OFF が短時間表示された後、 RPT は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
プレイリストからのトラックの再生	プレイリストが作成され、ルートディレクトリに保存されている場合は、PLST モードで再生できます。 PLST ON が表示されるまで、 TA キーを押し続けます。プレイリストの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。 複数のプレイリスト (すべてルートディレクトリ上) が使用可能な場合は、矢印キー ▲ と ▼ を使用して必要なプレイリストを選択します。 プレイリストがデータキャリア上に保存されていない場合は、 TA キーを押し続けると、 NO PLST が表示されます。 PLST モードの間は、他のディレクトリにアクセスできません。ディレクトリを変更するには、PLST モードを OFF にする必要があります。 PLST OFF が表示されるまで、 TA キーを押し続けます。最初のディレクトリの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。
再生の一時停止 (PAUSE)	キーブロックの 1 キーを押します。 PAUSE が表示されます。 一時停止のキャンセル： キーブロックの 1 キーを再度押します。再生が続行されます。

OULXBER,00029DF-40-11FEB16-1/1

MP3 の操作 (プレミアムラジオのみ)

MP3 の操作 (一般情報)

このラジオシステムでは、MP3/WMA 音楽ファイルの含まれる CD-R と CD-RW を再生できます。MP3 ファイルと WMA ファイルの操作は同じなので、このセクションでは、MP3 ファイルの再生についてのみ説明します。MP3 データキャリアは常に CD-R/RW を指します。

オンライン音楽ショップから入手する、デジタル著作権管理 (DRM) 機能を備えた WMA ファイルは、このラジオシステムで再生できません。

WMA ファイルは、Windows Media Player™ バージョン 8 以降で作成されている場合のみ、問題なく再生できます。

OULXBER,0002A13-40-09FEB16-1/1

MP3 CD の作成

自作 CD で問題が発生した場合は、異なるメーカーまたは異なる色のブランク CD を使用してください。

CD フォーマットは ISO 9660 Level 1 または Level 2、あるいは Joliet である必要があります。他のすべてのフォーマットでは確実に再生できない可能性があります。

オーディオファイルから MP3/WMA ファイルに変換 (エンコード) するときは、ビットレート 32~320 kbps (MP3 ファイルの場合) または 32~192 kbps (WMA ファイルの場合) を使用してください。

このラジオシステムでは最大 252 ディレクトリ、およびディレクトリごとに最大 255 ファイルをサポートします。CD は 512 を超えるディレクトリとファイルを含むことはできません。CD のディレクトリ/トラックは個別に選択できます。

注記: ファイル名 (ファイル拡張子 .mp3 または .wma を含む) に 17 文字以上を使用すると、トラックとディレクトリの最大数が減ります。

OULXBER,0002A14-40-10FEB16-1/2

CD の構造のレイアウト例:

各ディレクトリには PC で名前を付けることができます。ディレクトリ名はラジオシステムで表示できます。ディレクトリやトラック / ファイルの名前は、CD 作成ソフトウェアの説明どおりに付けてください。

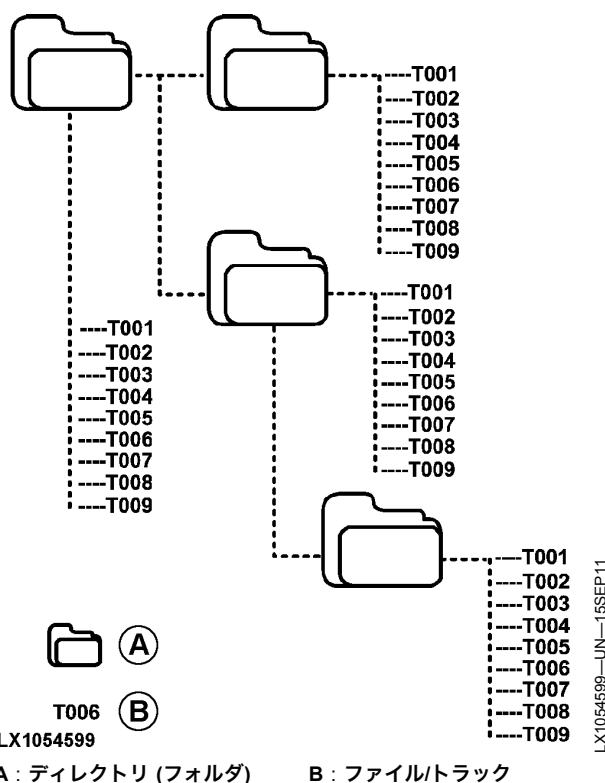
注記: ディレクトリやトラック / ファイルの名前を付けるときは、特殊文字 (または、ä、ü、ö、ê、é、ø などの一般的な欧州文字) を使用しないでください。

ファイル名 (ファイル拡張子 .mp3 または .wma を含む) に 17 文字以上を使用すると、トラックとディレクトリの最大数が減ります。

ファイルは必要な再生順序でデータキャリアに保存します。ラジオシステムは、データキャリアに物理的に保存されているとおりの順序でファイルを再生します。

このラジオシステムは、MP3 ファイル (ファイル拡張子 .mp3) と WMA ファイル (ファイル拡張子 .wma) のみを再生します。

- MP3 ファイル以外のファイルにファイル拡張子 .mp3 が付けられている場合、このファイルは無効になり、再生されません。
- MP3 トラックだけでなく MP3 以外のトラック / ファイルを含む CD を使用すると、ラジオシステムは MP3 トラック / ファイルのみを再生します。
- CD オーディオトラックと MP3 トラック / ファイルを含むミックスモード CD を使用すると、ラジオシステムは CD オーディオトラック / ファイルのみを再生します。



注記: ミックスメディア CD を使用すると、ラジオでデバイスエラーが発生することがあります。

OULXBER,0002A14-40-10FEB16-2/2

USB データキャリアの作成

ラジオシステムが USB データキャリアを認識するためには、大容量記憶装置として指定され、FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。オーディオファイルは MP3 または WMA フォーマットで保存する必要があります。

最大 5,000 トラック (ID3 タグなし) を USB データキャリ

アに保存し、使用することができます。ディレクトリとトラックは個々に選択し、再生できます。ID3 タグ付きのオーディオファイルを使用すると、使用可能なトラックの最大数が減ります。

市販の USB データキャリアがすべて適切に作動するかは保証できません。

OULXBER,0002A15-40-09FEB16-1/1

ID3 タグ

オーディオファイルには、アーティスト、トラック名、アルバム名などの追加情報 (ID3 タグ) が含まれる場合があります。

ます。このラジオシステムは、バージョン 1 とバージョン 2 の ID3 タグを表示できます。

OULXBER,0002A16-40-09FEB16-1/1

CD の MP3 モードの開始

MP3 CD モードは、MP3 CD が挿入されると自動的に開始されます。「CD モードの開始」の説明も参照してください。

現在のトラック番号 (T12 など)、再生時間、トラック情報 (ID3 タグ)、またはファイル名が表示されます。ディレクトリを変更すると、ディレクトリ名が短時間表示されます。

OULXBER,0002A17-40-09FEB16-1/1

USB データキャリアの接続と MP3 モードの開始

USB データキャリア (USB スティック、USB ドライブなど) を接続するには、USB ケーブルを外部 USB ポートに接続する必要があります (車両の取扱説明書も参照)。

注意： 設計により、一部の USB データキャリアは USB ポートへの直接接続に適していません。けがを防止するため、USB データキャリアを追加の接続ケーブルだけで使用してください。

USB データキャリアを USB ケーブルに接続します。接続されるとすぐに、**SRC 12** キーを押すことで USB データキャリアを選択できます。**USB** が表示されます。

再生の経過時間と残り時間の表示

キーブロックの **6** キーを押すと、現在のトラック再生の経過 (ELAPSED) 時間と残り (REMAIN) 時間が切り替わります。

トラック情報表示 (ID3 タグ)

オーディオファイルに ID3 タグが含まれる場合は、関連情報が各トラックの開始時にスクロールテキストとして 1 回表示されます。オーディオファイルに ID3 タグが含まれない場合は、ファイル名のみが表示されます。

注記：ID3 タグの作成については、PC MP3 ソフトウェアまたは CD 作成ソフトウェアの関連する説明も参照してください。

5 キーを押すと、トラック情報がスクロールテキストとして表示されます。現在のトラックの ID3 タグはスクロールテキストとして 1 回表示されます。

注記：スクロールテキストとしてのトラック情報表示が **OFF** の場合、この機能は使用できません。「スクロールテキストとしてのトラック情報表示の ON/OFF 操作 (SCRL)」を参照してください。

OULXBER,0002A18-40-09FEB16-1/1

トラック情報のスクロールの ON/OFF (SCRL)

1. CD モードまたは MP3/WMA モードを選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **SCRL** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回し

て、トラック情報によるスクロールテキストを **ON** または **OFF** にします。

5. MENU キーを数回押して、メニューを終了します。

6. SCRL OFF を選択した場合：各トラックの先頭で、トラックタイトルが表示/スクロールされます。次に、トラック番号と時間の両方がトラックの残りの再生時間中に表示されます。

OULXBER,0002A19-40-10FEB16-1/1

MP3/WMA ファイルの再生

ディレクトリの選択	▲ キーまたは ▼ キーを押すと、上下の異なるディレクトリに切り替わります。この方法により、サブディレクトリにもアクセスできます。有効なオーディオファイルが含まれないデータキャリアのディレクトリはスキップされます。
トラック選択	▶ キーまたは ◀ キーを押すと、次のトラックまたは前のトラックが選択されます。 現在のトラックが 10 秒以上再生されている場合は、◀ キーを 1 回押すと再スタートします。
クイックスキャン (可聴)	◀ キーまたは ▶ キーを押すと、再生の早送りまたは早戻しを開始されます。必要な時点でキーを放します。
ランダム再生 (MIX ALL) (データキャリア上のすべてのトラック)	MIX ALL が表示されるまで、キーブロックの 3 キーを数回押します。 MIX が表示され、MP3 データキャリアのすべてのトラックがランダムな順序で再生されます。
ランダム再生 (MIX DIR) (ディレクトリまたはフォルダのすべてのトラック)	MIX DIR が表示されるまで、キーブロックの 3 キーを数回押します。 MIX が表示され、MP3 ディレクトリのすべてのトラックがランダムな順序で再生されます。
MIX の停止	キーブロックの 3 キーを再度押します。 MIX OFF が短時間表示された後、MIX は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
トラックのスキャン (SCAN TRK) (データキャリア上のすべてのトラック)	MP3 データキャリアのすべてのトラックがそれぞれ約 10 秒間ずつ昇順で再生されます。SCAN TRK が表示されるまで、キーブロックの 4 キーを数回押します。
トラックのスキャン (SCAN FLD) (ディレクトリまたはフォルダのすべてのトラック)	MP3 ディレクトリのすべてのトラックがそれぞれ約 10 秒間ずつ昇順で再生されます。SCAN FLD が表示されるまで、キーブロックの 4 キーを数回押します。 スキャンの停止、トラック再生の続行： キーブロックの 4 キーを再度押すと、スキャンプロセスが停止します。 SCAN OFF が短時間表示されます。現在のトラックの再生が続行されます。
トラックまたはディレクトリの繰り返し (RPT TRK)/(RPT DIR)	トラックの繰り返し： キーブロックの 2 キーを押します。 RPT TRK が短時間表示された後、RPT が表示されます。RPT が OFF になるまで、現在のトラックが繰り返されます。 ディレクトリの繰り返し： キーブロックの 2 キーを押します。 RPT DIR が短時間表示された後、RPT が表示されます。RPT が OFF になるまで、現在のディレクトリが繰り返されます。 繰り返しの停止： キーブロックの 2 キーを再度押します。 RPT OFF が短時間表示された後、RPT は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
プレイリストからのトラックの再生	プレイリストが作成され、ルートディレクトリに保存されている場合は、PLST モードで再生できます。 PLST ON が表示されるまで、TA キーを押し続けます。プレイリストの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。 複数のプレイリスト (すべてルートディレクトリ上) が使用可能な場合は、矢印キー ▲ と ▼ を使用して必要なプレイリストを選択します。 プレイリストがデータキャリア上に保存されていない場合は、TA キーを押し続けると、NO PLST が表示されます。 PLST モードの間は、他のディレクトリにアクセスできません。ディレクトリを変更するには、PLST モードを OFF にする必要があります。 PLST OFF が表示されるまで、TA キーを押し続けます。最初のディレクトリの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。
再生の一時停止 (PAUSE)	キーブロックの 1 キーを押します。PAUSE が表示されます。 一時停止のキャンセル： キーブロックの 1 キーを押します。再生が続行されます。

OULXBER.0002A1A-40-11FEB16-1/1

Bluetooth® の操作 (プレミアムラジオのみ)

Bluetooth® の操作、一般情報

LX245298—UN—27 JUL 15

このラジオシステムには、組み込みの Bluetooth® モジュールが装備されています。ラジオ通信を使用すると、Bluetooth® により、ラジオシステムおよびペアリングされた近距離の Bluetooth® デバイス (携帯電話など) 間でのセキュリティで保護されたデータ転送が可能になります。

このラジオは次の機能をサポートします。

- Bluetooth® 機能の手動による ON/OFF。
- ラジオシステムと携帯電話間の永続的接続 (ペアリング)。
- 前にリンクされていた携帯電話との自動ペアリング (ラジオシステムの電源投入時)。
- ペアリングされた携帯電話の電話帳からの 252 の連絡先 (電話番号は各 4) のダウンロード。
- 転送された連絡先データの探索。
- 電話の受信と発信。
- オーディオファイルの再生。

北米向け規制

FCC ID : YBN-JD-BASE4

IC : 9595A-JD-BASE4

FCC Section 15.19、ラベル要件

この装置は、FCC (連邦通信委員会) Part 15 規制およびカナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. この装置が有害な干渉を引き起こす可能性はありません。



Bluetooth® 証明ラベル、ロシア向け

2. この装置は、予期しない動作を引き起こす可能性がある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を受け入れられること。

FCC Section 15.21、ユーザーへの情報提供

コンプライアンスの担当機関によって明確に承認されていない変更や改造を行うと、装置の操作に対するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

メキシコ国内の規則

NOM-121-SCT1-2009

このシステムの作動は次の 2 つの条件を前提としています。

1. このシステムまたは装置が有害な干渉を引き起こすことがあってはなりません。
2. このシステムまたは装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。

OULXBER,0002A0B-40-11FEB16-1/1

Bluetooth® の設定

Bluetooth® を使用する前に、次の手順を実行する必要があります。

1. Bluetooth® 機能の ON 操作
2. 接続の種類の選択 (電話 / オーディオ)

3. 携帯電話またはその他の Bluetooth® デバイスとのペアリング

携帯電話が正常にペアリングされるとすぐに、ラジオシステム経由での電話の受信と発信が可能になります。また、Bluetooth® デバイスに保存されている MP3 音楽ファイルをラジオシステム経由で再生できます。

OULXBER,0002A0C-40-10FEB16-1/1

Bluetooth® の ON/OFF 操作 (BT MODE)

Bluetooth® 機能は、各モード (ラジオ、CD、USB、AUX、XM) で ON または OFF にすることができます。Bluetooth® が ON のときは、対応する記号が点滅します。

注記 : Bluetooth® が ON でデバイスがペアリングされているときは、Bluetooth® 記号が永続的に表示されます。

1. MENU キーを押してメニューを開きます。
2. BT MODE が表示されるまで、MENU キーを数回押し

ます。現在の設定 (BT OFF または BT ON) が表示されるまで、2 秒間待ちます。

3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、Bluetooth® を ON または OFF にします。2 秒後に新しい設定が有効になり、Bluetooth® 記号が点滅し始めます。
4. MENU キーを押して CON-TYPE を開くか、現在選択されているモードに自動的に戻るまでしばらく待ちます。

OULXBER,0002A0D-40-09FEB16-1/1

接続の種類の選択 (CON-TYPE) とデバイスのペアリング (BT-PAIR)

Bluetooth® 電話と Bluetooth® オーディオをこのラジオシステムで使用できます。選択は CON-TYPE メニューで行います。

注記： CON-TYPE は、Bluetooth® が ON (BT ON) の場合のみ表示されます。

接続の種類の選択 (CON-TYPE)

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。
2. **CON-TYPE** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。サブメニュー (**BT PHONE** または **BT AUDIO**) が表示されるまで、2 秒間待ちます。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**BT PHONE** または **BT AUDIO** を選択します。
4. **MENU** キーを押して次の **BT PAIR** メニューを開くか、**TA** キーを押してキャンセルします。

Bluetooth® デバイスのペアリング (BT-PAIR)

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。

2. **BT PAIR** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。サブメニュー (**VISIBLE** または **BT AUDIO**) が表示されるまで、2 秒間待ちます。さらに 2 秒後、**PIN XXXX** が表示されます (XXXX は個々のシーケンス番号を表します)。
3. 携帯電話対応の Bluetooth® で、New Device (新規デバイス) または BOSCH BT (設定済みの場合) を選択し、接続の検索を開始します。携帯電話の接続が確立されるとすぐに、PIN 入力のためのプロンプトが表示されます。
4. ここで、ラジオに表示されている番号 (XXXX) を携帯電話に入力し、必要に応じて確認します。
5. ペアリングに成功すると、Bluetooth® 記号と **PAIRED** が表示され、その 2 秒後に **BT JOIN** とペアリングされた携帯電話の連絡先名が表示されます。

注記： ペアリングに失敗すると、**NO PAIR** が表示され、ラジオシステムは直ちに前のモードに戻ります。新しいペアリングを開始できます。

7. 連絡先名が 10 秒間表示されてから、ラジオシステムはペアリングの前に選択されていたモードに戻ります。

OULXBER,0002A0E-40-10FEB16-1/1

現在接続されている Bluetooth® デバイス (BT-JOIN)

最大 5 台の携帯電話をラジオシステムとペアリングできます。最後に接続されていた携帯電話がいつも自動的に再接続され、**BT JOIN** に表示されます。ペアリング済みの別の携帯電話を接続する場合は、範囲内にある他のすべての携帯電話の Bluetooth® 機能を最初に OFF にする必要があります。

また、必要な携帯電話をラジオシステムと再度ペアリングすることも可能です。

最大 5 台のデバイスをラジオシステムとペアリングできます。別のデバイスをペアリングすると、最も長期間保存されていたデバイスが削除されます。

OULXBER,0002A0F-40-10FEB16-1/1

電話帳データの転送とアクセス

電話帳データの転送：

ペアリングに成功すると、接続された携帯電話からラジオシステムに最大 252 件の連絡先 (電話番号は各 4 件) が転送されます。転送はバックグラウンドで自動的に行われます。このプロセスに関する情報はありません。Bluetooth® 記号の点滅が停止するとすぐに、ラジオシステム経由で電話データにアクセスできます。

電話帳データへのアクセス：

電話帳データ (電話番号、連絡先名など) はリストに保存されます。このリストは **SRC** キーを押し続けることで表示され、矢印キーを使用して検索できます。**SRC** キーを再度押すか、**MENU** キーを押すと、キャンセルされます。

1. **SRC** キーを 3 秒以上押し続けて、リストを開きます。
2. 最初の連絡先が表示されます。
3. **▶** キーを押すと、アルファベットの次の文字に進みます。
4. **◀** キーを押すと、アルファベットの前の文字に進みます。
5. **▼** キーを押すと、次の連絡先が表示されます。
6. **▲** キーを押すと、前の連絡先が表示されます。
7. **MENU** キー押してリストを閉じます。

注記： かかってきた電話は優先されます。リストは閉じられ、最後に選択されていたモードが表示されます。各通話の後、電話情報が更新されます。

OULXBER,0002A10-40-10FEB16-1/1

電話の受信と発信

ラジオシステムが携帯電話とペアリングされているときは、電話の受信と発信が可能です。

電話の受信

電話がかかってくると、着信音が鳴り、**CALL** が表示されます。2 秒後にディスプレイが切り替わり、発信者の連絡先名または電話番号が表示されます。関連情報が使用可能でない場合は、**PRIVATE NUMBER** が表示されます。

1. **BND** キーを押して、電話を受けます。(電話を拒否するには、**MENU** キーを押します)。
2. 必要に応じて、音量コントロールを使用して電話の音量を調整します。
3. **MENU** キーを押して、通話を終了します。
CALL END が 2 秒間表示され、ラジオシステムは現在選択されているモードに戻ります。

電話の発信

1. **SRC** キーを 3 秒以上押し続けて、連絡先リストを開きます。
2. 矢印キーを押して必要な連絡先を選択し、**BND** を押して接続を確立します。
3. 接続がいったん確立されると、**IN CALL** が表示されます。
4. 必要に応じて、音量コントロールを使用して電話の音量を調整します。
5. **MENU** キーを押して、通話を終了します。
CALL END が 2 秒間表示され、ラジオシステムは現在選択されているモードに戻ります。

ミュート機能：通話中に **ON/OFF** キーを短く押すと、マイク経由の音声伝送が抑制 (ミュート) されます。**ON/OFF** キーを再度押すと、音声伝送が再開します。

注記：通話中にかかってくる電話は、着信音で通知されます。着信音が鳴りやんだ後、かかってくる電話は自動的に拒否されます。

OULXBER,0002A11-40-09FEB16-1/1

オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)

このラジオシステムは A2DP¹ Bluetooth® 標準をサポートします。携帯電話またはオーディオプレーヤーが A2DP もサポートする場合は、サポートされる MP3 音楽ファイルをラジオシステムにワイヤレス送信し、ステレオ品質で再生できます。再生のためには、**BT AUDIO** という接続の種類が **CON-TYPE** メニューで選択され、Bluetooth® デバイスがペアリングされている必要があります。ペアリングに成功した後、**SRC** キーを使用して **BT AUDIO** モードに切り替えて、音楽ファイルを聞きます。

デバイスとラジオとのペアリング：このセクションの「接続の種類選択 (CON-TYPE)」と「デバイスのペアリング (BT-PAIR)」を参照してください。

ペアリング成功後：

1. **BT AUDIO** が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。トラックの再生が自動的に開始され、携帯電話 / オーディオプレーヤー設定に応じて、ファイル、ディレクトリの終わりまで、またはエンドレスに再生が続きます。トラック情報が使用可能で、**SCRL** が **ON** の場合

¹ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) は一般的に使用される転送テクノロジーであり、Bluetooth® を使用する互換性のあるレシーバにステレオ音声信号を転送できます。

は、情報がスクロールテキストとして表示されます。トラック情報が使用できない場合は、**TITLE UNKNOWN** が表示されます。

注記：Bluetooth® 記号の点滅がフェースプレートで停止するまで、オーディオソースは利用できません。

2. 音量コントロールを使用して再生音量を調整します。
3. 一時停止キー **II** を押すと、再生が一時停止します。一時停止キーを再度押すと、再生が再開します。この機能は、携帯電話 / プレーヤーでサポートされている場合のみ使用できます。
4. **BT AUDIO** モード中に **ON/OFF** ボタン (ミュート) を短く押すと、スピーカー再生が中断されます。

注記：ペアリングされているデバイスの音量は、ラジオのオーディオ出力に影響を与えます。デバイスの音量の設定が低すぎる場合は、ラジオからのオーディオ出力が聴こえません。

注記：電話機能は **BT AUDIO** モードでも有効であり、音楽再生より優先されます。したがって、通話中の音楽再生は一時停止されます。

OULXBER,0002A12-40-11FEB16-1/1

SiriusXM® 衛星受信 (北米向けプレミアムラジオのみ)

SiriusXM® ラジオ、一般情報

John Deere (電話 1-866-635-2349) に連絡してキャンセルするまで、サービスは自動的に更新され、その時点の料金で請求されます。契約条件の詳細については、www.siriusxm.com で Customer Agreement を参照してください。他の料金と税金が適用されます。すべての料金とプログラムは変更される場合があります。XL では頻繁に露骨な言葉が使われたり、大人向けプログラムが提供される場合があります。Family Friendly パッケージについては、SiriusXM Listener Care (電話 1-800-967-2346) にお問い合わせください (カナダの場合は 1-877-438-9677)。XM 衛星サービスは、米国 48 州および D.C. の 18 歳以上の視聴者に対してのみ提供されます。プログラムスケジュールまたはサブスクリプションの詳細については、www.siriusxm.com または www.siriusxm.ca (カナダ) をご覧ください。電話

で申し込むこともできます。USA 連絡先：1-800-967-2346、カナダ連絡先：1-877-438-9677。

注記：SiriusXM® 衛星ラジオシステムと互換性のある受信機に組み込まれている、または SiriusXM® Web サイト、オンラインサービス、そのすべてのコンテンツをサポートするテクノロジーやソフトウェアを複製、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング、ハッキング、操作、または他の方法で利用可能にすることは禁止されています。さらに、この製品に組み込まれている AMBE® 音声圧縮ソフトウェアは、Digital Voice Systems, Inc. の特許権、著作権、企業秘密を含む知的所有権によって保護されています。

カナダ：極端な北緯では一部のサービス低下が発生する場合があります。これは SiriusXM® 衛星ラジオによる制御範囲外です。

OULXBER,00029FC-40-09FEB16-1/1

XM シリアル番号の表示

1. メモ帳とペンを用意します。
2. XM が表示されるまで、SRC キーを数回押します。
3. 2 秒後に、チャンネル CHN 0 が表示されます。
4. 次に RADIO ID が表示されます。さらに 2 秒後に、8 桁の XM シリアル番号 (1A2B3C4D など) が 10 秒間表示されます。

5. 番号を記録します。このコードは衛星ラジオサービスの申し込みに必要なです。

注記：チャンネル 0 では、CHN 0 (2 秒)、ラジオ ID (2 秒)、シリアル番号 (10 秒) の間で交互に表示が切り替わります。チャンネル 0 である限り、この表示は繰り返されます。

OULXBER,0002A1C-40-11FEB16-1/1

XM ラジオモード

注記：XM は、北米プレミアムラジオのみで利用できます。CD なしプレミアムラジオ (米国) の場合、「XM 対応」であり、ラジオとは別に XM チューナーを購入する必要があります。

このラジオシステムには、衛星経由でデジタルラジオ局を受信する XM チューナーが装備されています (XM ラジオなど)。それぞれ最大 6 チャンネルの 3 つの XM バンド

(XM1、XM2、XM3 メモリレベル) があり、6 つの局キーに割り当てることができます。

CAT 機能を使用すると、プログラムタイプ (カテゴリ) に応じてチャンネルを明確に選択できます。

注記：衛星ラジオサービスは有料で、ユーザーは申し込む必要があります。申し込みにはレシーバのシリアル番号が必要です。このセクションの「XM シリアル番号の表示」を参照してください。

OULXBER,00029FD-40-11FEB16-1/1

XM ラジオモードの開始

ラジオシステムが現在別のモードになっている場合は、次の操作を行います。

XM とチャンネル番号 CHN X が表示されるまで、SRC キーを数回押します。

OULXBER,00029FE-40-09FEB16-1/1

XM バンドの選択 (メモリレベル)

工場初期設定として、XM1 バンドが設定されています。BND キーを押すと、メモリレベル間で切り替わります。

選択されている XM バンド名がディスプレイの左下に表示されます。

OULXBER,00029FF-40-11FEB16-1/1

XM チャンネルの選択

XM チャンネルは、左矢印ボタン ◀ と右矢印ボタン ▶ を使って選択できます。カテゴリ検索モードが有効な場合、選択したカテゴリに応じてチャンネルを利用できます。

- ▶ キーを押すと、次のチャンネルに進みます。
 - ◀ キーを押すと、前のチャンネルに進みます。
- 選択したチャンネルの番号が表示されます。

OULXBER,0002A00-40-11FEB16-1/1

XM チャンネルの保存

XM チャンネルを局キーに保存する方法は、アナログラジオ局の保存とまったく同じです。

1. **BND** キーを押し、該当する XM バンドを選択します。
2. **▶** キーまたは **◀** キーを押して、必要な XM チャンネルを選択します。

3. 局キー 1~6 のいずれかを XM チャンネルの保存用に選択し、このキーを 2 秒以上押し続けます。確認ビープ音は、選択した局キーに XM チャンネルが保存されたことを示します。

XM チャンネルの再生中、この XM チャンネルの保存場所 (P1 など) がディスプレイ左上に表示されます。

OULXBER,0002A01-40-09FEB16-1/1

保存されている XM チャンネルの選択

1. **BND** キーを押し、該当する XM バンドを選択します。

2. 該当する局キー 1~6 を押して、必要な XM チャンネルを選択します。

OULXBER,0002A02-40-11FEB16-1/1

XM チャンネルのカテゴリモードの ON/OFF (CAT)

1. **SRC** キーを押して、衛星モードに切り替えます (XM がまだ選択されていない場合)。

2. **CAT** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**CAT ON** または **CAT OFF** を選択します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A03-40-11FEB16-1/1

XM チャンネルカテゴリの選択

XM チャンネルカテゴリ (ROCK、JAZZ、NEWS など) は、下矢印キー (▼) と上矢印キー (▲) を使用して選択します。

注記：プログラムタイプを選択するには、CAT が ON になっている必要があります。

- ▲ キーを押すと、次のカテゴリに進みます。
- ▼ キーを押すと、前のカテゴリに進みます。

OULXBER,0002A04-40-11FEB16-1/1

キー機能の設定 (KEY PRG)

XM ラジオモードでは、次のいずれかの機能を ◀ / ▶ キーに割り当てることができます。

CHNSEEK : XM チャンネルの手動増加

CHNSCAN : 現在選択されている XM バンドで利用可能な XM チャンネルのスキャン

1. **KEY PRG** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
2. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、CHNSEEK から CHNSCAN またはその逆に切り替えます。
3. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A05-40-11FEB16-1/1

システム情報

XM ラジオモードでは別の不具合が発生する可能性があります。ラジオシステムにより該当するエラーメッセージが

表示されます。「エラーメッセージと不具合」(セクション 50) も参照してください。

OULXBER,0002A07-40-09FEB16-1/1

仕様

仕様

	標準ラジオ	CD 付き標準ラジオ	プレミアムラジオ	北米向けプレミアムラジオ
作動電圧	12 V	12 V	12 V	12 V
出力	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)
AUX 入力	2 x 2.0 V 実効	2 x 2.0 V 実効	2 x 2.0 V 実効	2 x 2.0 V 実効
周波数バンド、NAFTA 各国				
FM	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz
AM	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz
WX	162.4 ~ 162.55 MHz	162.4 ~ 162.55 MHz	N/A	162.4 ~ 162.55 MHz
周波数バンド、欧州				
UKW (FM)	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz
MW	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz
LW	153 ~ 279 kHz	153 ~ 279 kHz	153 ~ 279 kHz	153 ~ 279 kHz
FM 周波数応答	30 ~ 15000 Hz	30 ~ 15000 Hz	30 ~ 15000 Hz	30 ~ 15000 Hz
CD 周波数応答	20 ~ 20000 Hz	20 ~ 20000 Hz	20 ~ 20000 Hz	20 ~ 20000 Hz

使用可能な周波数バンド (チューナーバンド) :

- EUROPE (欧州)
- NAFTA (北米)
- SOTHAMRC (南米)
- MESTAFRC (中東 / アフリカ)
- APAC (アジア太平洋、日本を除く)
- TAIWAN (台湾)
- PHILIPIN (フィリピン)
- AUSTRALNZ (オーストラリアとニュージーランド)

OULXBER,0002A08-40-09FEB16-1/1

製品識別番号と SiriusXM® シリアル番号

この取扱説明書の「XM シリアル番号の表示」も参照して ここに数字を記録してください。

ラジオモデル名 (識別図を参照)

ラジオ識別番号、「XM シリアル番号の表示」を参照:

SiriusXM® シリアル番号、「XM シリアル番号の表示」を参照

OULXBER,0002A09-40-11FEB16-1/1

エラーメッセージと不具合

衛星受信中のエラーメッセージ (北米のみ) :	
SATUPDAT	暗号化コードの更新中。
NO SIGNAL	信号がないか、弱すぎる。このエラーメッセージは、信号が十分な強度になるまで表示されます。
LOAD SIGNAL	音声信号の解読失敗。チャンネルを切り替えます。
OFF AIR	選択されたチャンネルがブロードキャストされていない。チャンネルを切り替えます。
CH UNAVL	選択したチャンネルが使用できなくなった。ラジオシステムは前のチャンネルに自動的に切り替わります。
— — —	アーティストまたはトラック情報がない。該当する情報を受信するまで、このメッセージが表示されます。

ラジオ、CD、ファイルの再生 - 故障 :	
ラジオが地域内でブロードキャスト中の放送局がない周波数に切り替わる。	地域内で使用可能な周波数バンドに受信機を設定する必要があります。John Deere™ 取扱店でラジオに正しい周波数バンドを設定してもらいます。
AUX 音源が使用できない。	AUX 音源は、それぞれのポートに入力デバイスが接続されている場合のみ表示されます。問題が発生した場合は、プラグ、ケーブル、入力デバイスのスイッチを点検します。
Bluetooth® ハンズフリーデバイスの使用時に音声品質が悪い。	エアルーバーによってファンの空気がマイク方向に流れていないことを確認します。電話のバッテリー電源が低すぎる場合は、充電ケーブルを接続します。Bluetooth® デバイスの音量を高くします。Bluetooth® デバイスのイコライザを有効にします (装備されている場合)。
メッセージ「BLOCKED」の表示	オーディオ再生が不可能。権限のない使用を防止するため、ラジオがロックされています (anti-theft が ON)。John Deere™ 取扱店でラジオをロック解除してください。
メッセージ「CD ERROR」の表示	挿入した CD の問題。CD の傷、ファイルシステムの破損、読み取り不能。
メッセージ「DEF ERR」の表示	USB デバイスの問題。ファイル形式が正しくありません。USB デバイスの互換性がない

OULXBER,0002A0A-40-11FEB16-1/1

適合宣言

Robert Bosch Car Multimedia GmbH は、以下に示すラジオ機器タイプが指令 2014/53/EU (Annex VII) に準拠していることをここに宣言します。

- John Deere Base 1 US (標準ラジオ)
- John Deere Base 3 US/EU (CD 付き標準ラジオ)
- John Deere Base 4 EU (プレミアムラジオ EU)
- John Deere Base 4 US (北米向けプレミアムラジオ)
- John Deere Base 5 (CD なしプレミアムラジオ (米国))

EU 適合宣言の全文は以下のインターネットアドレスでご確認いただけます。

<http://cert.bosch-carmultimedia.net>

関連する国の 2014/53/EU の全文：	
国	指令
エストニア	2014/53/EL
リトアニア ラトビア	2014/53/ES

オーストリア チェコ共和国 ドイツ デンマーク フィンランド 英国 クロアチア ハンガリー アイルランド オランダ スウェーデン スロバキア	2014/53/EU
ベルギー スペイン フランス イタリア ルクセンブルグ マルタ ポーランド ポルトガル ルーマニア	2014/53/UE
キプロス ギリシャ	2014/53/ E E
ブルガリア	2014/53/ E C

Bluetooth® 仕様

周波数帯	2400 Mhz ~ 2480 Mhz
放射電力 (EIRP)	Bluetooth® < 10 mW
ヒント/制限	内蔵 Bluetooth® アンテナ実装済み

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です。

OULXBER,0002C51-40-25APR17-1/1

索引

	ページ		ページ
B		X	
Bluetooth® の起動 (BT MODE)	40-1	XM シリアル番号、表示	45-1
Bluetooth® の設定	40-1	XM シリアル番号の表示	45-1
Bluetooth® 経由のオーディオファイルの送信	40-3	XM チャンネル、保存されているチャンネルの 選択	45-2
Bluetooth®, オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)	40-3	XM ラジオモード	45-1
Bluetooth®, データ転送	40-2		
Bluetooth®, デバイスのペアリング (BT-PAIR)	40-2	き	
Bluetooth®, 電話データの転送と探索 (データ 転送)	40-2	キー機能の設定 (KEY PRG)	15-5
Bluetooth®, 電話の受信と発信	40-3		
C		さ	
CD の MP3 モードの開始	35-2	サーチ感度	15-3
CD のイジェクト	30-1	サーチ機能、感度	15-3
CD プレーヤーの操作 (再生機能)	30-2		
CD モード、一般情報	30-1	と	
CD モードの開始	30-1	トラック情報、スクロール機能の ON/OFF	35-2
CD、MP3 ディレクトリ	35-1	トラック情報のスクロールの ON/OFF	35-2
		トラック情報表示	35-2
M			
MP3 CD の作成	35-1	ふ	
MP3 モードの開始、USB データキャリア	35-2	プログラムタイプ	15-4
MP3、CD の操作 (一般情報)	35-1	フロント / リア音量配分の調整	10-4
MP3、ID3 タグ	35-2		
MP3、USB データキャリア	35-2	ら	
MP3/WMA ファイルの再生	35-3	ラウドネス ON/OFF 操作	10-4
		ラジオのミュート	10-3
O		ラジオモードの開始	15-2
ON/OFF 操作	10-3	ラジオレシーバの設定	15-1
		ラジオ受信、基本設定	05-1
R		ラジオ受信のための基本設定	05-1
RDS 機能の ON/OFF	15-2	ラジオ照明の輝度調整	10-3
		漢字	
S		衛星受信、XM シリアル番号	45-1
SiriusXM™ ラジオ、一般情報	45-1	衛星受信、XM チャンネルの選択	45-1
		衛星受信、プログラムタイプの選択 (カテゴリ) ...	45-2
U		音楽ファイルの再生	
USB データキャリアの作成	35-2	MP3	35-1
		WMA	35-1
W		音響の調整	10-4
WMA、CD の操作 (一般情報)	35-1	音響設定の復元	10-5
		音量調整	10-3
		外部音源	25-1
		確認ビープ音 ON/OFF 操作	10-4
		干渉している高音域のカット (HCUT)	15-4

次のページへ

	ページ		ページ
交通安全	05-1	電源投入時の最大音量の調整	10-4
交通情報	20-1	電話の受信と発信、Bluetooth®	40-3
国ごとの設定	15-1	保存されている XM チャンネルの選択	45-2
左 / 右音量配分の調整	10-4	保存されている放送局、選択	15-3
作業の安全	05-1	保存されている放送局のスキャン (PRSTSCAN)	15-3
仕様	50-1	保存されている放送局の呼び出し	15-3
周波数バンド / メモリレベルの選択	15-2	保存されている放送局の選択	15-3
接続のための Bluetooth® デバイスの選択	40-2	放送局の保存	15-3
接続の種類の選択 (CON-TYPE)	40-2	利用可能な放送局のスキャン	15-4
選局	15-2		

